



# 伴奏スタイル (リズム、オート・ベース・コード[ABC])

この章ではCVP-87/85/83に用意されたさまざまなリズムに関する機能や自動伴奏(オート・ベース・コード [ABC])によるアンサンブル演奏を楽しむ方法を説明します。

31

1. リズムを使って演奏する..... 32
  - ・リズムを選ぶ..... 32
  - ・テンポ(速さ)を調節する..... 32
  - ・リズムをスタート/ストップする..... 33
  - ・フィル・インを入れる..... 36
  - ・リズム音量と手弾き音量のバランスをとる..... 37
2. メトロノームを使う..... 38
3. 自動伴奏(オート・ベース・コード[ABC])を使って演奏する..... 39
  - ・自動伴奏の種類..... 39
  - ・ABCを使って演奏する..... 41
  - ・ABC音量(アカンパニメント・ボリューム)と手弾き音量のバランスをとる..... 43
4. ディスク・スタイルを使う..... 44
5. ソロ・スタイルプレイを使って演奏する..... 46



# 1. リズムを使って演奏する

## ■各スタイルのご紹介…

音色／伴奏スタイル一覧表(→P124)及び「活用ガイド」P65の“スタイルのご紹介”をご参照ください。

## ■[DISK STYLE]ボタンについて…

12個のSTYLEボタンの他に、「ディスク・スタイル」を記憶させて使う2つの[DISK STYLE]ボタンがあります。(→P44)

## ■各スタイルの標準テンポについて…

各スタイルにはそれぞれの標準テンポが設定されており、スタイルを選ぶと自動的にそのテンポになります。ただし、リズム再生中にスタイルを切り換えた場合は、テンポは変わりません。また、スタイルを選んだときに標準テンポにならず、そのままテンポが変わらないようにすることもできます。

→応用機能U4(P85)

## ■TEMPO[▼][▲]について…

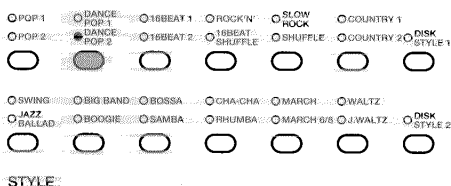
TEMPO[▼][▲]はどちらも軽く押し続けるとゆっくり連続して変わり、強く押し続けるとすばやく連続して変わります。また、区切って押すと1ステップずつ調節できます。

また、TEMPO[▼][▲]を同時に押すと、そのスタイルの標準テンポになります。

CVP-87/85/83にはパネルの24種類と付属の「ディスク・スタイル」50種類の合計74種類の音楽スタイルが用意されています。各スタイルはリズムだけ、あるいはリズム、ベース、コードから成る自動伴奏(オート・ベース・コード[ABC])を使って楽しむことができます。

## リズムを選ぶ

24種類のリズムを12個のSTYLEボタンで選びます。各ボタンには2つずつスタイルが割り当てられており、同じボタンを押すごとに2つのスタイルが交互に切り替わります(ランプの点灯で確認できます)。

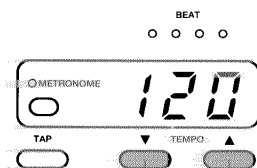


## テンポ(速さ)を調節する

CVP-87/85/83のテンポ調節にはディスプレイの数字表示を見ながら調節する一般的な方法と、よりフィーリングを重視したタップ・テンポ機能を使う方法があります。

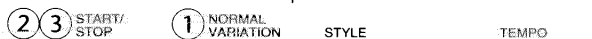
### 数値によるテンポ調節のしかた

TEMPOディスプレイを見ながらTEMPO[▼][▲]で調節します。32～280の範囲で調節できます。



テンポが遅くなる      テンポが速くなる

リズム停止中はいつもTEMPOディスプレイに、選ばれているリズムの現在のテンポが表示されています。また、リズム再生中はTEMPO[▼][▲]を押している間だけテンポが表示され、それ以外は小節番号表示になります。

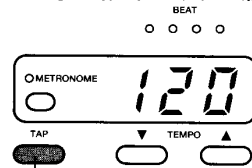




## タップ・テンポ機能を使う

タップ・テンポとは演奏したいテンポのきざみで、[TAP]を指でたたいてテンポを指定する機能です。

リズム停止中に[TAP]を指で数回たたくと、そのタイミングのテンポで選ばれているリズムがスタートします。4拍子の曲の場合は4回、3拍子の場合は3回たたきます。



4拍子の曲の場合  
4回たたく

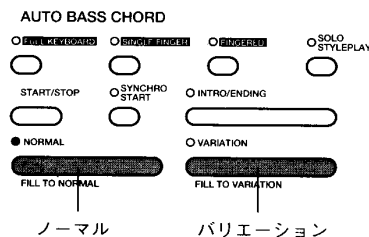
また、リズム再生中にも[TAP]を指でたたく(2回以上)とそのタイミングのテンポになります。

## リズムをスタート/ストップする

リズムのスタート/ストップにはつぎの方法があります。

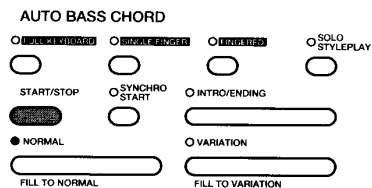
### 基本的なスタート/ストップの方法

1 ノーマル [NORMAL]またはバリエーション [VARIATION]を押して、そのスタイルのタイプを選びます。

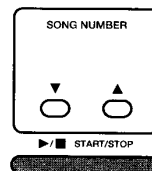


ノーマル バリエーション

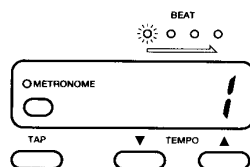
2 スタート/ストップ [START/STOP]を押します。



または



リズム再生中はビート・ランプが左から順に1拍ごとに点滅し、TEMPOディスプレイには小節番号が表示されます。



また、STYLEボタンを押して別のスタイルに切り換えられます。

3 もう一度[START/STOP]を押すとストップします。

■ノーマル・タイプとバリエーション・タイプの違いについて…  
ノーマル・タイプはそのスタイルの基本タイプであり、バリエーション・タイプはそのノーマル・タイプに少しアレンジを加えたものです。たとえば同じ曲の中でも両タイプを使い分けることで曲調を変えることができます。また、後で説明するフィルインと一緒に使うことでより効果的な演出ができます。



## ペダルによるスタート/ストップの方法

レフト・ペダルの機能をスタート/ストップに設定すると(→P21)、レフト・ペダルでスタート/ストップできます。

CVP-87

MIDI/  
TRANPOSE



OSOFT  
● START/STOP  
○ SOLO STYLEPLAY

LEFT PEDAL  
FUNCTION

CVP-85/83

MIDI/  
TRANPOSE



OSOFT  
○ SOFTENUTO  
● START/STOP  
○ SOLO STYLEPLAY

LEFT PEDAL  
FUNCTION

この方法を使うと、両手を使って演奏しながらリズムをスタート/ストップするときなどたいへん便利です。

### ■イントロ・パターンについて...

スタイルのタイプごとに個別のイントロ・パターンが用意されています。

### ■イントロ・スタートを解除するには...

もう一度[INTRO/ENDING]を押してランプを消します。

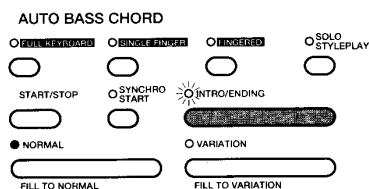
■イントロ・スタートさせてストップしたときは、自動的にイントロ・スタートがスタンバイされます。

## イントロ・パターンからスタートさせる方法(イントロ・スタート)

1

イントロ/エンディング

[INTRO/ENDING]を押すと、ランプが点滅します。



2

ノーマル

バリエーション

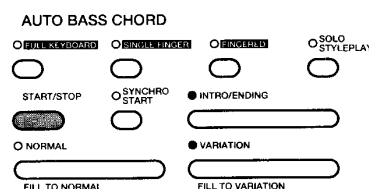
[NORMAL]か[VARIATION]を押して、タイプを選びます。

3

スタート/ストップ

[START/STOP]を押すと、イントロ・パターンでスタートします。

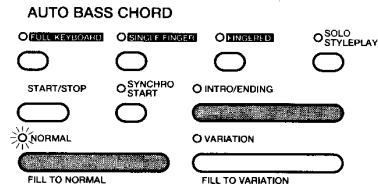
イントロ再生中は[INTRO/ENDING]のランプが点灯します。





## フィル・イン・パターンからスタートさせる方法(フィル・イン・スタート)

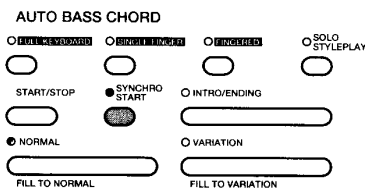
**1** イントロ/エンディング フィル・トゥー・ノーマル フィル・トゥー・バリエーション  
[INTRO/ENDING]を押しながら、[FILL TO NORMAL]か[FILL TO VARIATION]を押してタイプを選びます。[FILL TO NORMAL]か[FILL TO VARIATION]のランプが点滅します。



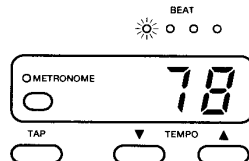
**2** スタート/ストップ  
[START/STOP]を押すと、フィル・イン・パターンが再生され、ノーマルかバリエーション・タイプのリズムが続きます。フィル・イン再生中まで[FILL TO NORMAL]か[FILL TO VARIATION]のランプが点滅します。

## 演奏と同時にスタートさせる方法(シンクロ・スタート)

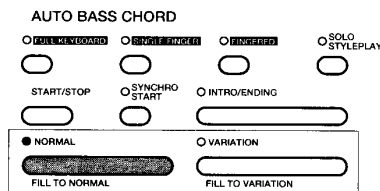
**1** シンクロ・スタート  
[SYNCHRO START]を押すと、ランプが点灯し、シンクロ・スタートがスタンバイされます。



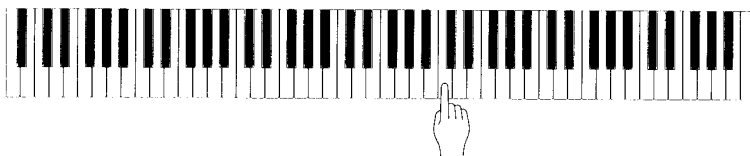
テンポに合わせて点滅



**2** ノーマル バリエーション  
[NORMAL]か[VARIATION]を押して、タイプを選びます。また、前述の方法でイントロやフィルイン・パターンからのスタートも設定できます。



**3** 鍵盤を弾くと同時にリズムがスタートします。



■フィル・イン・パターンについて…  
スタイルのタイプごとに個別のフィル・イン・パターン(1小節)が用意されています。また、このあとの“フィルインを入れる”の項もご覧ください。

■フィル・スタートを解除するには…  
もう一度、点滅している[FILL TO NORMAL]か[FILL TO VARIATION]を押してランプの点滅を止めます。

■フィル・スタートさせてストップしたときは、自動的にフィル・スタートがスタンバイされます。

■シンクロ・スタートを解除するには…

もう一度[SYNCHRO START]を押してランプを消します。

■シンクロ・スタートさせてストップした時は、自動的にシンクロ・スタートがスタンバイされます。

■スプリット機能(P24)やABCシングル・フィンガー、フィンガード(P39)を使っているときは…

低音部の鍵盤を弾くと同時にリズム(自動伴奏)がスタートします。



■エンディング・パターンについて…  
それぞれのスタイルのタイプごとに個別のエンディング・パターンが用意されています。

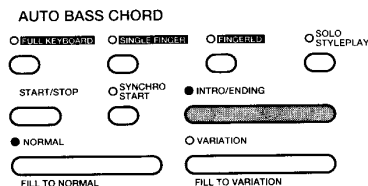
■エンディングの入るタイミングについて…  
小節の前半で[INTRO/ENDING]を押した場合、その小節からエンディング・パターンに変わり、後半で押した場合は次の小節から入ります。

■フィル・イン・パターンについて…  
スタイルのタイプごとに個別のフィル・イン・パターン(小節)が用意されています。

■フィル・インの入るタイミングについて…  
[FILL TO NORMAL]または[FILL TO VARIATION]を押したところからその小節の終わりまでフィル・インが演奏されます。ただし、その小節の最後の半拍以降に押した場合は次の小節にフィル・インが演奏されます。  
サビの前や曲の雰囲気が変わるところでタイミングよくフィル・インを入れると、演奏が盛り上がりったり落ち着いたりしますのでいろいろと試してコツを覚えましょう。

## エンディング・パターンでストップさせる方法

リズム再生中に[INTRO/ENDING]を押すと、エンディング・パターンが再生されて、リズムがストップします。エンディング再生中は[INTRO/ENDING]のランプが点灯します。



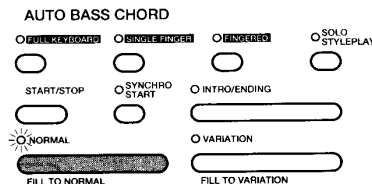
## フィル・インを入れる

リズム再生中にフィル・イン(フレーズの変り目目で使われるリズム・パターン)を入れることができます。次の2つの方法があります。

フィル・トゥー・ノーマル

### [FILL TO NORMAL]を押す

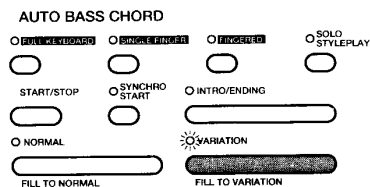
フィル・イン・パターンが再生され、ノーマル・タイプのリズムが続きます。フィル・イン・パターン再生中は[FILL TO NORMAL]のランプが点滅します。



フィル・トゥー・バリエーション

### [FILL TO VARIATION]を押す

フィル・イン・パターンが再生され、バリエーション・タイプのリズムが続きます。フィル・イン・パターン再生中は[FILL TO VARIATION]のランプが点滅します。

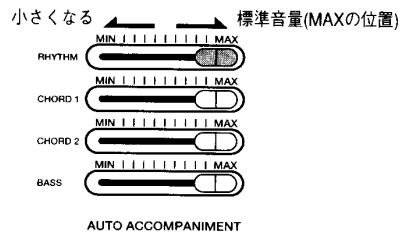




## リズム音量と手弾きの音量のバランスをとる

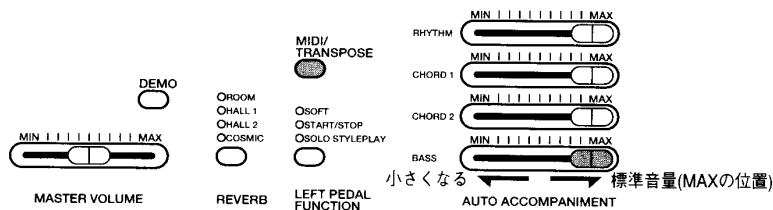
リズムに合わせて演奏するとき、リズムの音量と手弾きの音量のバランスを次の2つの方法で調節できます。

- 1 リズム音量を小さくする(リズム音量が大きすぎる場合)**  
リズム  
 [RHYTHM]ボリュームでリズム音量だけを小さくできます。



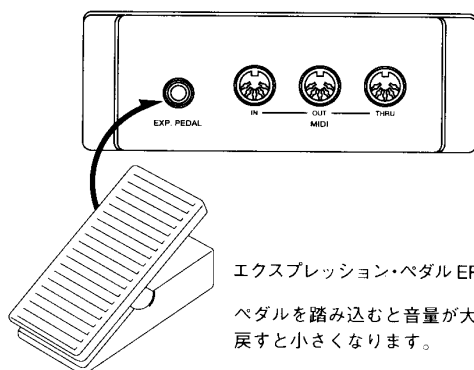
■全体の音量は…  
 [MASTER VOLUME]で調節します。

- 2 手弾きの音量を小さくする(手弾きの音量が大きすぎる場合)**  
ミディ・トランスポーズ ベース  
 [MIDI/TRANPOSE]を押しながら、[BASS]ボリュームを動かすと、手弾きの音量だけを小さくできます。



### エクスプレッション・ペダル(CVP-87)

CVP-87ではオプション(別売)のエクスプレッション・ペダルEP-1をリア・パネルのEXP.PEDAL端子に差し込んで使うと、演奏しながら手弾きの音量だけを調節し、演奏に表情をつけることができます。



エクスプレッション・ペダル EP-1  
 ペダルを踏み込むと音量が大きくなり、  
 戻すと小さくなります。



## 2. メトロノームを使う

### ■リズムとメトロノームを いっしょに使うとき…

メトロノーム動作中にリズムをスタートさせると、そのリズムと同じタイミングでメトロノームも動作します。リズム再生中にメトロノームをスタートさせた場合も、そのリズムと同じタイミングでメトロノームは動作します。メトロノームもリズムも動作中のとき、リズムを止めるとメトロノームも同時に止まります。

メトロノームの動作中に[TAP]をたたくと、タップ機能の方のタクト音が優先的に発音され、メトロノームの音は鳴りません。

正確なテンポで演奏したいとき、CVP-87/85/83のメトロノームをお使いください。

### メトロノームをスタート/ストップさせる

メトロノーム  
[METRONOME]を押すとランプが点灯し、現在のテンポでメトロノームが鳴り出します。



もう一度[METRONOME]を押すとランプが消え、メトロノームは止まります。  
スタート/ストップ  
([START/STOP]を押すと、メトロノームは止まらず、リズムがスタートします。)

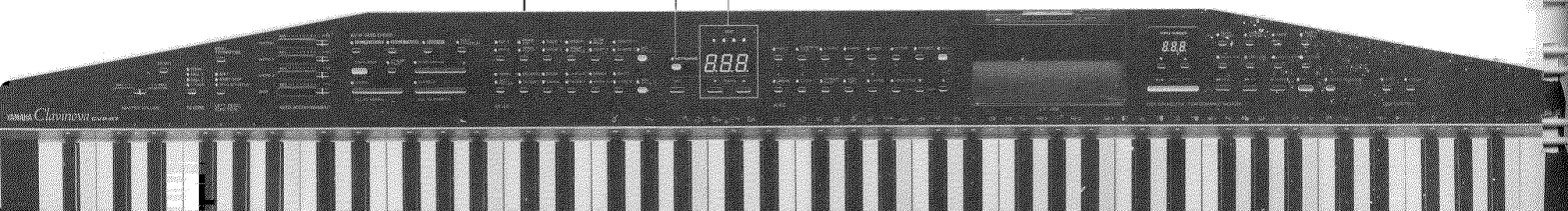
### メトロノームのテンポと音量を調節する

#### テンポの調節

リズムのテンポ調節と同じようにテンポTEMPO[▼]と[▲]を使って、32～280の範囲で設定できます。(→P32)

#### 音量の調節

リズムの音量調節と同じようにリズム[RHYTHM]ボリュームを動かして調節します。







## 3. 自動伴奏(オート・ベース・コード[ABC]) を使って演奏する

CVP-87/85/83にはシングル・フィンガー、フィンガード、フル・キーボードの3種類の自動伴奏システム(オート・ベース・コード[ABC])があります。

### 自動伴奏の種類

#### シングル・フィンガー

左手(低音部)鍵盤を下記のルールに従って1つ〜3つ押えるだけで、スタイルに合ったアレンジでリズム、ベース、コード・パートから成る自動伴奏が再生されます。自動伴奏にあわせて右手(高音部)でメロディを弾いてください。

#### シングル・フィンガーのコードの押え方

シングル・フィンガーでは下記の4種類のコードで演奏できます  
([「活用ガイド」P75にコード一覧表が用意されています])。

##### ●メジャー

コードのルート音の鍵盤を押します。

例) C(シー)を出す場合



##### ●セブンス

コードのルート音とそれより左側の白鍵(どれでもよい)を同時に押します。

例) C7(シー・セブンス)を出す場合



##### ●マイナー

コードのルート音とそれより左側の黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。

例) Cm(シー・マイナー)を出す場合



##### ●マイナー・セブンス

コードのルート音とそれより左側の白鍵と黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。

例) Cm7(シー・マイナー・セブンス)を出す場合





## フィンガード

左手(低音部)でコード(和音)を押さえると、自動伴奏が再生されます。自動伴奏にあわせて右手(高音部)でメロディを弾いてください。

### フィンガード・コードについて

フィンガードでは下記の20種類のコードで演奏できます  
([活用ガイド] P70にコード一覧表が用意されています)。

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| ●メジャー(Maj)                 | ●メジャー・セブンス・フラット・ファイブ(M7-5) |
| ●マイナー(m)                   | ●マイナー・メジャー・セブンス・           |
| ●セブンス(7th)                 | フラット・ファイブ(mM7-5)           |
| ●マイナー・セブンス(m7)             | ●マイナー・シックス(m6)             |
| ●メジャー・セブンス(M7)             | ●セブンス・サスフォー(7sus4)         |
| ●マイナー・メジャー・セブンス(mM7)       | ●メジャー・フラット・ファイブ(M-5)       |
| ●オーギュメント(aug)              | ●マイナー・フラット・ファイブ(m-5)       |
| ●ディミニッシュ(dim)              | ●セブンス・フラット・ファイブ(7th-5)     |
| ●シックス(6th)                 | ●セブンス・シャープ・ファイブ(7th+5)     |
| ●サスフォー(sus4)               | ●メジャー・セブンス・シャープ・ファイブ(M7+5) |
| ●マイナー・セブンス・フラット・ファイブ(m7-5) |                            |

#### ■ちょっと覚えておこう…

フル・キーボードでは、スプリット(P24)やデュアル(P22)もできます。

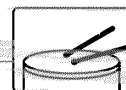
■フル・キーボードでは、小節のはじめからだいたい8分音符間隔でコードが検出されます。この間隔以内に弾かれた短いコードは検出されません。

#### ■従来型フル・キーボード…

全鍵域で通常のピアノ両手演奏をしながら、鍵盤のどこでも3音以上の和音でコードを押さえると自動伴奏が再生されます。

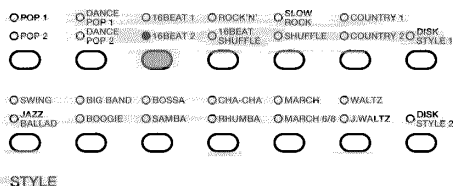
## フル・キーボード

全鍵域で通常のピアノ両手演奏をするだけで、コードを押さなくても自動伴奏が再生されます。(アレンジによって、「フル・キーボード」ABCに合わない楽譜もあります)。

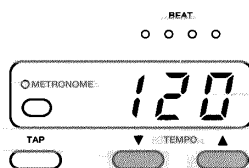


## ABCを使って演奏する

### 1 スタイルを選ぶ

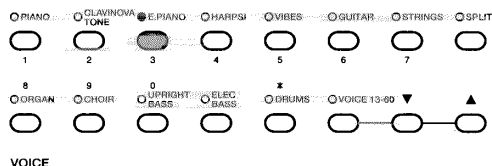


### 2 テンポを設定する



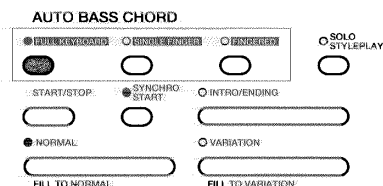
### 3 音色を選ぶ

右手のメロディ演奏用の音色(高音部の音色)を選びます。



### 4 ABCの種類を選ぶ

フル・キーボード シングル・フィンガー フィンガード  
[FULL KEYBOARD]、[SINGLE FINGER]、[FINGERED]のどれかを  
押して、ランプをつけます。



シンクロ・スタートがスタンバイされ、CVP-87では[SINGLE FINGER]または[FINGERED]を選んだ場合、スプリット・ポイントの鍵盤ガイドランプがつきます。

#### ■シンクロ・スタートについて…

ABC(シングル・フィンガー、フィンガード、フル・キーボード)をONにすると、自動的にシンクロ・スタートもONになるように設定されています。この設定を解除することもできます。

→応用機能U5(P85)

#### ■従来型フル・キーボードについて…

従来型フル・キーボードの場合は、[SINGLE FINGER]と[FINGERED]を両方押して、両方のランプをつけます。

#### ■スプリット・ポイントについて…

電源を入れたときは、F#2の鍵盤がスプリット・ポイントです。  
[SINGLE FINGER]または[FINGERED]を押しながら、スプリット・ポイントにしたい鍵盤を押すと変更できます。  
操作中はTEMPOディスプレイにスプリット・ポイントの鍵盤名が表示されます。



#### ■音量調節について…

[RHYTHM][CHORD1][CHORD2][BASS]  
ボリュームは、通常MAX(=標準)にして  
おきます。→“ABC音量と手弾き  
音量の調節”(P43)

#### ■演奏にメリハリをつける…

ABC演奏でもリズム同様に[INTRO/  
ENDING]、[FILL TO NORMAL]、[FILL  
TO VARIATION]の組み合わせによっ  
て、さまざまなパターンを演出できま  
す。詳しくは“1.リズムを使って演奏す  
る”(→P32)をご覧ください。

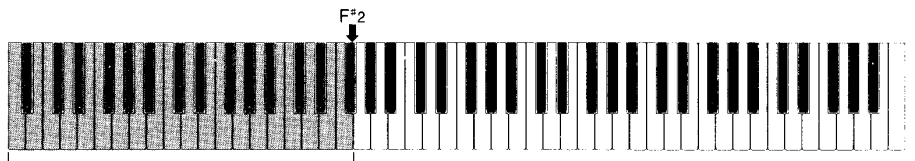
#### ■コードの押え方について…

左手(低音部)でコードを押さえたあと  
指を離しても、次のコードを押えるま  
では同じコードの伴奏が続きます。  
また、コードを変えるとき、指を鍵盤  
から離さないで動かすと、コードが思  
いどおりに変わらないことがあります。  
一度指を離してから次のコードを  
押えてください。

## 5 演奏をスタートする

### シングル・フィンガー、フィンガードの場合

低音部の鍵盤を弾くと同時に自動伴奏がスタートします。



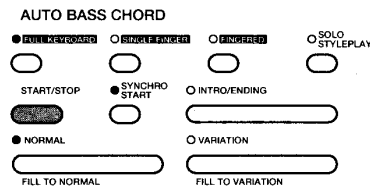
左手(低音部)でコードを押さえ、右手(高音部)でメロディを弾いてください。

### フル・キーボードの場合

全鍵盤のどこでも鍵盤を弾くと同時に自動伴奏がスタートします。

## 6 ABCをストップする

スタート/ストップ イン트로/エンディング  
[START/STOP]か[INTRO/ENDING]を押します。ストップすると  
自動的にシンクロ・スタートがスタンバイされます。



■従来型フル・キーボードから通常の  
状態に戻るときは、[SINGLE FINGER]  
か[FINGERED]を2回押してください。

フル・  
ABCから通常の状態に戻るときは、ランプの点灯している[FULL  
キーボード キーボード シングル・フィンガー フィンガード  
KEYBOARD]、[SINGLE FINGER]、または[FINGERED]を押して  
ランプを消してください。



## ABC 音量(アカンパニメント・ボリューム)と手弾き 音量のバランスをとる

ABCを使って演奏するとき、ABCの各パートの音量と手弾きの音量のバランスを次の2つの方法で調節できます。

### 1

#### ABCの各パートの音量を小さくする

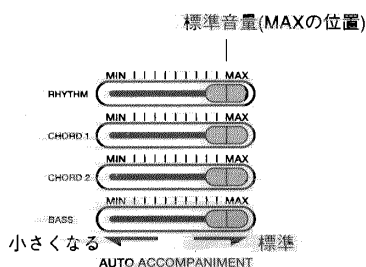
(各パート間の音量バランスを調節したい場合、

また手弾き音に対してABC音量が大きすぎる場合。)

また手弾き音に対してABC音量が大きすぎる場合。)

[RHYTHM][CHORD1][CHORD2][BASS]のボリューム・

コントロールでそれぞれのパートの音量を調節できます。

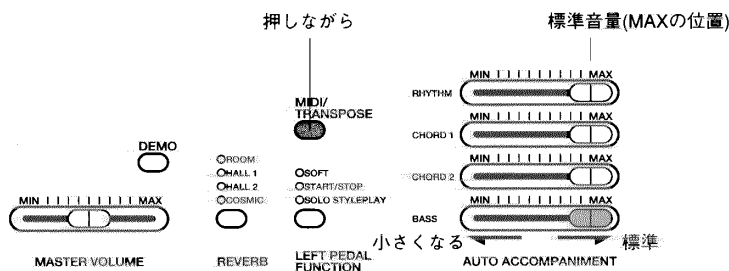


### 2

#### 手弾きの音量を調節する (手弾きの音量が大きすぎる場合)

ミディ・トランスポーズ

[MIDI/TRANPOSE]を押しながら、[BASS]ボリュームを動かすと手弾きの音量だけを小さくできます。また、CVP-87ではエクスプレッション・ペダルでもコントロールできます。(→P37)



#### ■スタイルのパートについて…

スタイルによっては、はじめからあるパートを使っていないものもあります。

#### ■フル・キーボードについて…

フル・キーボードでは、メロディ音と伴奏音のバランスをとるために、[CHORD 1]か[CHORD 2]のどちらかのパート音が自動的に消されるスタイルもあります。ただし、消されているパートのボリュームを動かすと、そのパートの音が復活します。

#### ■ちょっと覚えておこう…

[CHORD2]のボリュームを0にしてみるとか、[CHORD1]と[CHORD2]のボリュームを0にして、[RHYTHM]と[BASS]だけの伴奏にするとか、組み合わせ次第でいろいろなタイプの伴奏になります。

#### ■あとで役立つ知識…

アカンパニメント・ボリュームはモジュレーションやピッチベンドなどのコントローラーとして使うこともできます。→応用機能U2(P85)

#### ■ミュート機能について…

右手のメロディがABCの音と音楽的にぶつかる場合、自動的にABCのあるパートの音量が消えたり下がったりします(ミュート機能)。ミュート機能は電源を入れたときはONになっていますが、OFFにすることもできます。→応用機能U8(P85)

#### ■簡易調性判断機能について…

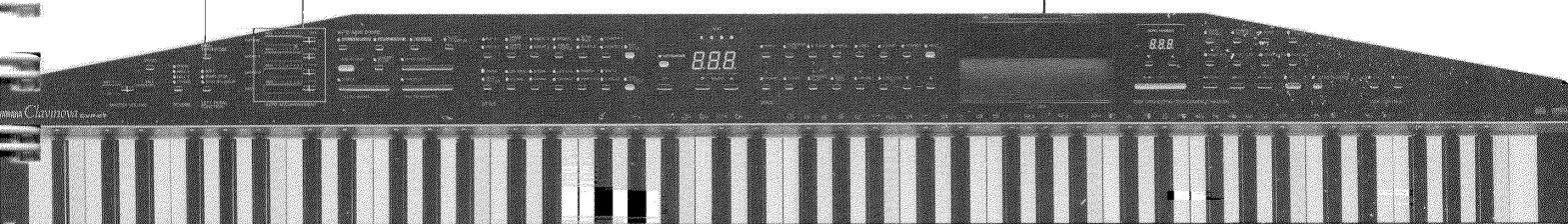
ABC(フル・キーボードを除く)でセブンス・コード(7th)演奏時、短調系の場合に9度を8度に、6度を5度に変更します(簡易調性判断機能)。

簡易調性判断機能は電源を入れたときはOFFになっています。

→応用機能U9(P85)

#### ■全体のボリュームは…

[MASTER VOLUME]で調節します。





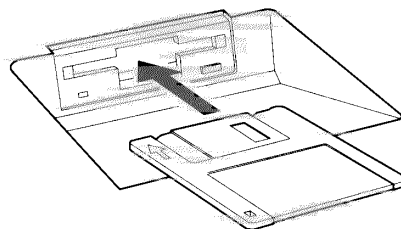
## 4. ディスク・スタイルを使う

パネルの24種類のスタイルの他に、付属の「ディスク・スタイル」には50種類のスタイルが入っています。このディスクのスタイルは[DISK STYLE1]または[DISK STYLE2]のボタンに記憶させてパネルのスタイルと同様に使えます。ディスクを取り扱う前に必ず「フロッピーディスクについて」(→P59)をよくお読みください。

### 「ディスク・スタイル」を[DISK STYLE1または2]に記憶させる

#### 1 「ディスク・スタイル」をセットする

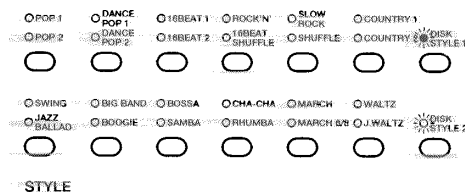
「ディスク・スタイル」のディスクを図のような正しい向きと方向でディスク挿入口にしっかりと入れます。



#### ■ちょっと気をつけて…

すでに「ディスク・スタイル」が差し込まれていて、[SONG SELECT]のランプが消えている場合は、[SONG SELECT]を押してランプをつけてください。ランプが消えていると次の操作へ進めません。

[SONG SELECT]のランプが点灯し、[DISK STYLE1]と[DISK STYLE2]のランプが交互に点滅します。



ABC(→P39)がOFFのときに「ディスク・スタイル」をセットすると、自動的にABCのシングル・フィンガーがONになり、シンクロ・スタートがスタンバイされます。(すでにフィンガードやフルキーボードになっていた場合はそのままになります。)

③ STYLE

① 3.5" DISK

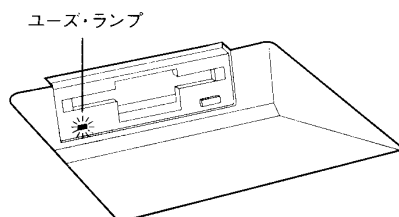
② SONG NUMBER



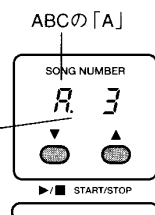
## 2 記憶させるスタイルを選ぶ

ソング・ナンバー

SONG NUMBER[▼][▲]を押して、記憶させたいスタイルの番号をSONG NUMBERディスプレイに表示させます。



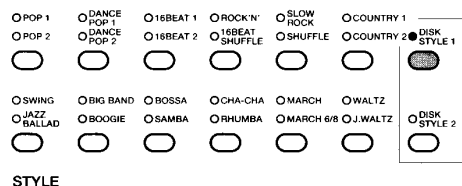
ディスクからスタイルを読み込んでいる間は“.”がつく



ここでコードを弾いて、選んだスタイルを聞いてみるができます。

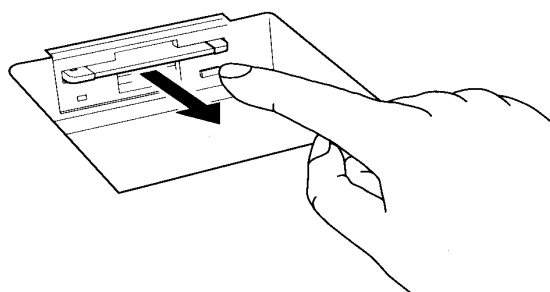
## 3 選んだスタイルを記憶させる

[DISK STYLE1]と[DISK STYLE2]のうち、どちらかを押すと、ランプが点灯し、選んだスタイルが記憶されます。記憶が完了すると[SONG SELECT]のランプは消えます。



もう一方の[DISK STYLE]にも別のスタイルを記憶させたい場合は[SONG SELECT]を押してランプをつけ、操作2と3を繰り返してください。

操作を終えたら、イジェクト・ボタンを押して、ディスクを取り出してください。



## 記憶させたスタイルを使う

他のパネルのスタイルの場合と同じ操作で、使うことができます。

[DISK STYLE1または2]を選んだときは、そのスタイル番号が、SONG NUMBERディスプレイに表示されます。

### ■かならず守って…

ユーズ・ランプが点灯しているときはディスクを取り出さないでください。

### ■ちょっと気をつけて…

[DISK STYLE1]と[DISK STYLE2]に、すでにスタイルが記憶されていた場合は、記憶されていたスタイルが消えて新しく選んだものが記憶されます。

### ■電源を入れたときは…

[DISK STYLE1]と[DISK STYLE2]へ、あらかじめプログラムされたスタイルが記憶されます。

### ■標準テンポの変更…

スタイルを記憶させる前にテンポを変更すると、そのテンポがそのスタイルの標準テンポとしてスタイルと一緒に記憶されます。

### ■スタイルのコピーについて…

「ディスク・スタイル」は別のディスクにコピーできます。(→P74)



## 5. ソロ・スタイルプレイを使って演奏する

### ■ちょっと覚えておこう…

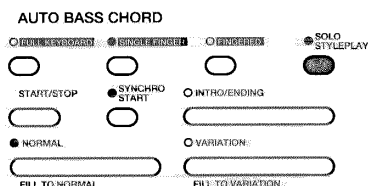
ソロ・スタイルプレイをONにする前に、すでに[FINGERED]か[FULL KEYBOARD]になっていた場合は、[FINGERED]になります。

ソロ・スタイルプレイを使うとABCに加えて、右手のメロディにハーモニーや装飾音がつけ加えられます。

# 1

### ソロ・スタイルプレイをONにする

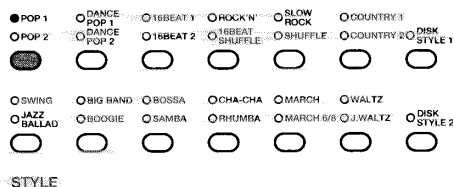
ソロ・スタイルプレイ [SOLO STYLEPLAY]を押してランプをつけます。シングルフィンガーのシンクロ・スタートが自動的にスタンバイされます。もし、フィンガードを使いたい場合は、[FINGERED]を押してください。



# 2

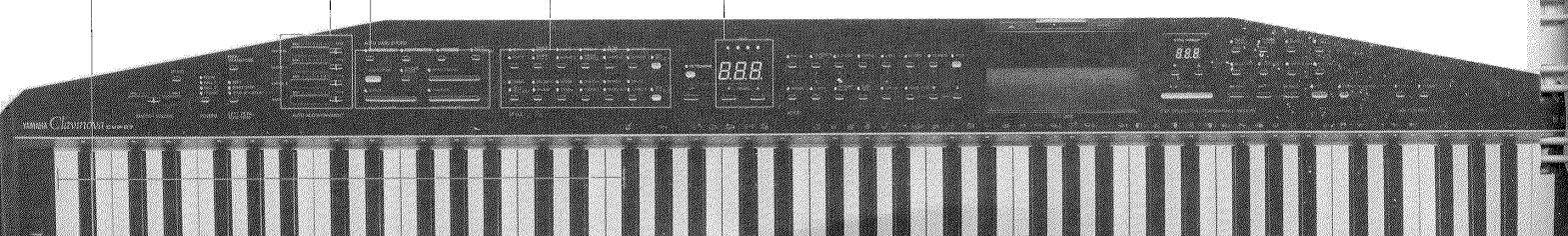
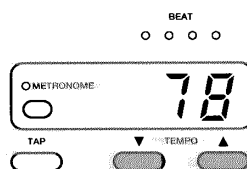
### スタイルを選ぶ

ソロ・スタイルプレイでは、スタイルを選ぶと、そのスタイル用のメロディ音色が自動的に選ばれます。音色を変えたい場合は、VOICEボタンで選び直してください。



# 3

### テンポを調節する







## 4 ボリュームを調節する

ABC音量(アカンパニメント・ボリューム)や手弾き音、全体のボリュームを調節します。



## 5 演奏をスタートする

低音部の鍵盤を弾くと同時に自動伴奏がスタートします。  
左手(低音部)でコードを押え、右手(高音部)でメロディを弾いてください。メロディにハーモニーや装飾音が加わります。

## 6 ABCをストップする

スタート/ストップ [START/STOP]かイントロ/エンディング [INTRO/ENDING]を押します。ストップすると自動的にシンクロ・スタートがスタンバイされます。  
ソロ・スタイルプレイ ソロ・スタイルプレイをOFFにしたいときは、[SOLO STYLEPLAY]を押してランプを消してください。

### ■ハーモニーや装飾音のパターンについて…

右手のメロディに加わるハーモニーや装飾音のパターンはスタイルごとに自動設定されます。

■右手のメロディが、単音になるスタイルもあります。

### ■ちょっと覚えておこう…

シングル・フィンガー、フィンガードをOFF、またはフル・キーボードをONにすると、ソロ・スタイルプレイはOFFになります。

### ハーモニーや装飾音のパターンの変更

メロディに加わるハーモニーや装飾音のパターンは別のスタイル用のものを選ぶこともできます。スタイルを選んだあと、[SOLO STYLEPLAY]を押しながら使いたいパターンのSTYLEボタン ([DISK STYLE 1,2] 以外)を押します。

### ペダルによるコントロールの方法

レフト・ペダルの機能をソロ・スタイルプレイに設定すると(→P21)、レフト・ペダルを踏んでいる間だけ、メロディにハーモニーや装飾音がつきます。

CVP-87

MIDI/  
TRANPOSE



OSOFT  
OSTART/STOP  
OSOLO STYLEPLAY



LEFT PEDAL  
FUNCTION

CVP-85/83

MIDI/  
TRANPOSE



OSOFT  
OSOSTENUTO  
OSTART/STOP  
OSOLO STYLEPLAY



LEFT PEDAL  
FUNCTION

この方法を使うと、ABC演奏中にソロ・スタイルプレイがON/OFFできますので、盛り上げたいところだけソロ・スタイルプレイを使うことができます。



# ディスク・オーケストラ

CVP-87/85/83では、クラビノーバ専用音楽ソフト「ディスク・オーケストラ・コレクション(D.O.C.)」でいろいろなジャンルの演奏を楽しむことができます。付属品として、楽譜とディスクが1セットついていますが、他にもたくさんのタイトルが発売されています。

ここでは、「ディスク・オーケストラ・コレクション」を使って、演奏をきいたり、ディスク・オーケストラといっしょに演奏したり、繰り返し練習したりする機能について説明します。

1. 演奏をきく..... 50
2. ディスク・オーケストラといっしょに演奏する..52
3. ガイド・ランプに合わせて練習する  
(ガイド機能、CVP-87のみ)..... 53
4. フレーズを繰り返し演奏する  
(フレーズ・リピート機能)..... 55
5. フレーズの範囲を指定してフレーズ練習する  
(A-Bリピート機能)..... 57

# 1.演奏をきく

■ピアノプレーヤのためのソフト「ピアノプレーヤ・ソフト」を再生させることもできます。「ピアノプレーヤ・ソフト」は、ピアノソロ（一部は連弾）を集めたディスクです。（一部クラビノーバでは使えない「ピアノプレーヤ・ソフト」もあります）

■すでに「ディスク・オーケストラ・コレクション」のディスクがはいっていて、[SONG SELECT]のランプがついていないときは、ボタンを押してつけます。

■ソング・ナンバーを速く変えるとき…

[▼][▲]を押して続けてください。ソング・ナンバーが連続して変わります。

■現在選択されている曲から全曲再生したいとき…

[MIDI/TRANPOSE]を押しながら[▶/■ START/STOP]を押します。

■全曲をランダム（順不同）に再生したいとき…

85ページの方法で「ランダム全曲リピート」をオンにしておいて、全曲再生します。

■鍵盤ガイドランプを消したいとき（CVP-87のみ）…

CVP-87では、再生中右手/左手パートで弾かれている鍵盤のガイドランプがつきますが、[LAMP CANCEL]を押すと、それを消すことができます。

■リズムの入っていない曲などで、ビートランプが点滅しないものもあります。

■再生中にテンポを変えたいとき…

TEMPO[▼]または[▲]を押します。TEMPO[▼]と[▲]を同時に押すと、データにセットされているもとのテンポに戻ります。操作中はTEMPOディスプレイが小節番号からテンポの表示に変わります。（フリーテンポの曲などで、テンポが“—”と表示されるものもあります。）

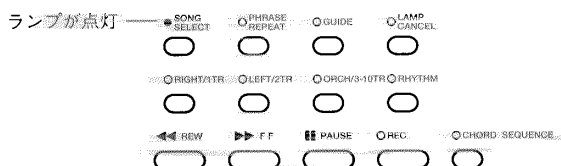
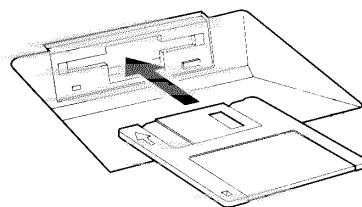
■ちょっと気をつけて…

曲によっては、小節番号が楽譜と異なって表示されることがあります。

「ディスク・オーケストラ・コレクション」をきいてみましょう。

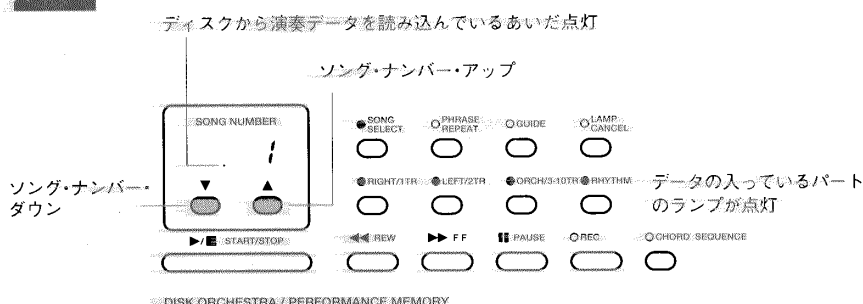
## 1 フロッピー・ディスクを入れる

「ディスク・オーケストラ・コレクション」のディスクを図のような正しい向きと方向でしっかり入れます。



## 2 曲を選ぶ

SONG NUMBERの[▼][▲]でききたい曲を選びます。

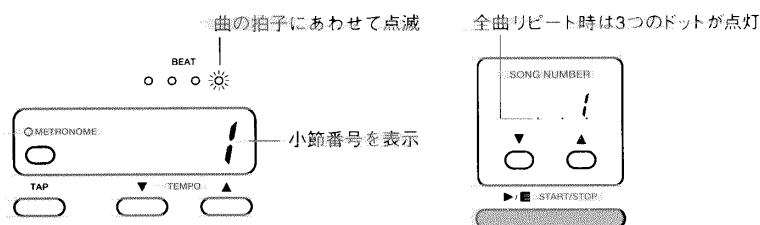


DISK ORCHESTRA / PERFORMANCE MEMORY

「ALL」を選ぶと、全曲を順番にきくことができます。（ソング・ナンバー1の状態からダウン[▼]を押すと「ALL」になります。）

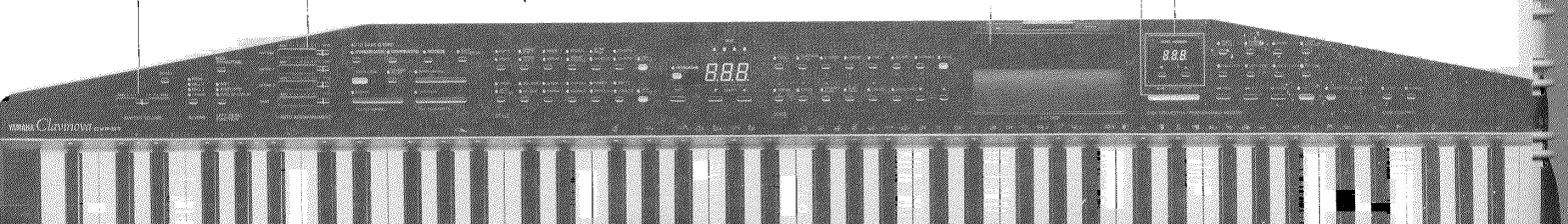
## 3 演奏をスタートする

[▶/■ START/STOP]を押します。



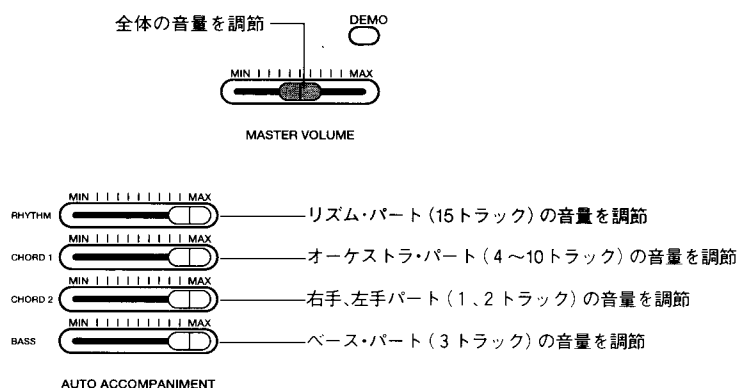
4 MASTER VOLUME 4 ACCOMPANIMENT

1 3.5" DISK 3 5 START/STOP 2 SONG NUMBER



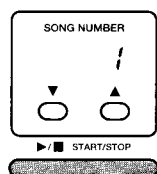
# 4 音量を調節する

ボリューム・スライダーで音量を調節します。



# 5 演奏をストップする

[▶/■ START/STOP]を押します。曲の最後までくると、自動的にストップします。



## 巻き戻し／早送り／ポーズ (一時停止)

[REW]: (リワインド＝巻き戻し)

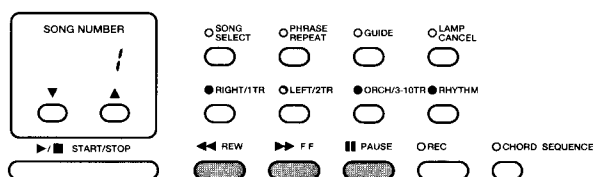
小節を1小節ずつ戻します。押し続けると連続的に戻ります。

[FF]: (フォワード＝早送り)

小節を1小節ずつ進めます。押し続けると連続的に進みます。

[PAUSE]: (ポーズ＝一時停止)

演奏を一時停止します。もう一度押すとそこから再スタートします。



DISK ORCHESTRA / PERFORMANCE MEMORY

## ■ちょっと覚えておこう…

ディスク・オーケストラを再生しているとき、[RIGHT/1TR][LEFT/2TR]のパートのみ別の音色に変えることができます。([RIGHT/1TR]と[LEFT/2TR]は常に同じ音色が使われています)。ただし、曲の途中で音色の切り換えのデータが入っていると、もとの設定音色にもどります。また、ソング・ナンバーを変えた場合も、もとの設定音色にもどります。

■曲を選んだ時点では、パートごとの音量はボリューム・スライダーの位置に関係なく、データにセットされている音量で再生されます。

## ■いろいろなディスクの再生…

「ディスク・オーケストラ・コレクション」以外にも、「パフォーマンス・メモリー」、「ピアノプレーヤー・ソフト」、「ESEQ」、「スタンダードMIDIファイル(フォーマット0のみ)」などのディスクを同様に再生することができます。

## ■ディスクをとり出すとき…

ユーズ・ランプが消えていることを確認してから、イジェクト・ボタンを押します。

## ■ちょっと気をつけて…

[REW]の操作をしたときに、音色やテンポ、ボリュームなどが、データにセットされているものと異なって再生される場合があります。

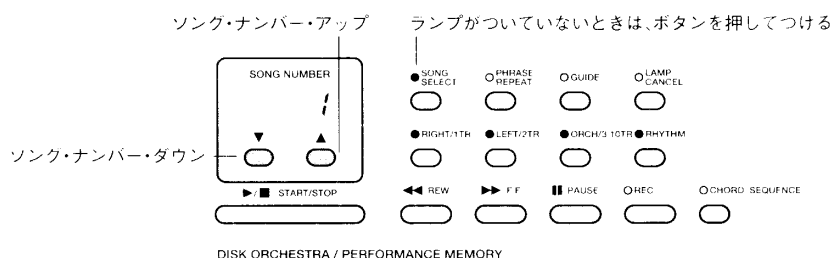


## 2. ディスク・オーケストラといっしょに演奏する

ディスク・オーケストラ・コレクションのメイン・パート(RIGHT/1TR, LEFT/2TR)の再生をOFFにして、OFFにしたパートをディスク・オーケストラといっしょに演奏してみましょう。

### 1 曲を選ぶ

[SONG SELECT]のランプがついていることを確認して、SONG NUMBERの[▼][▲]で演奏したい曲を選びます。



#### ■演奏中でも…

パートのON/OFFを切りかえることもできます。

#### ■ディスク・オーケストラの再生音を小さくしたいとき…

[RHYTHM] [CHORD1] [BASS]のボリューム・スライダーで調節します。

#### ■自分の演奏音を小さくしたいとき…

[MIDI/TRANPOSE]を押しながら[BASS]のボリューム・スライダーで調節します。

#### ■鍵盤ガイド・ランプを消したいとき (CVP-87) …

[LAMP CANCEL]を押します。

#### ■(3-10TR)をパートごとにON/OFFにする…

バックিং・パートである3～10トラックを個別にON/OFFすることもできます。(→92ページ)

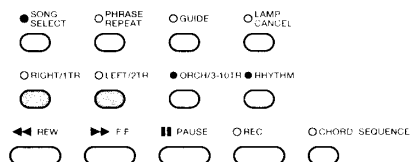
#### ■レフト・ペダルを使う…

[LEFT PEDAL FUNCTION]をSTART/STOPに設定しておくと、[▶/■ START/STOP]と同様に機能します。

ただし、フレーズ・ナンバーが設定されている[ディスク・オーケストラ・コレクション]では、再生中に踏むと次のフレーズの頭でホース一時停止となり、もう一度踏むとそこから再スタートします。ピアノコンチ・ルトのカデンツァなどを演奏するとき有効です。

### 2 演奏するパートを選ぶ

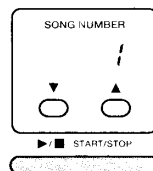
演奏するパート ([RIGHT/1TR]、[LEFT/2TR]のどちらか、または両方)のランプを消して、そのパートの再生をOFFにします。両手で演奏するときは、両方のランプを消します。



### 3 演奏をスタートする

[▶/■ START/STOP]を押します。

ディスク・オーケストラに合わせて、OFFにしたパートを演奏してください。



### 4 演奏をストップする

途中で演奏を止めるときは[▶/■ START/STOP]を押します。曲の最後までくると自動的にストップします。



### 3 GUIDE



# ■電源を入れたとき…

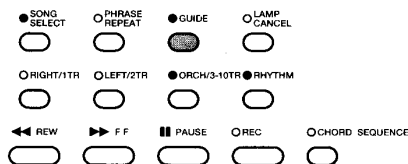
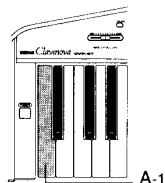
Aの方法になっているので、このままでよいときはモードを選ぶ必要はありません。

## ガイドの方法を選ぶ

ガイド機能には、ディスク・オーケストラが待っていてくれる方法として次の2種類があります。

### A.楽譜どおりの音を弾くまで待ってくれる方法

[GUIDE]を押しながら一番左端の白鍵を押します。

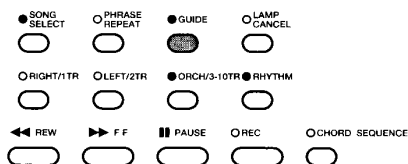
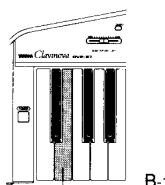


ガイド・ランプがついている鍵盤を正しく弾くまでディスク・オーケストラが待ってくれます。

### B.だいたい弾ければ曲が進んでくれる方法

[GUIDE]を押しながら左端から2番目の白鍵を押します。

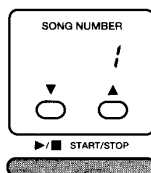
ガイド・ランプがついている鍵盤をだいたい弾けていれば曲が進みます。



■Bでは、鍵盤ガイドランプが示している鍵盤を弾かなくても、そこから4分音符8つ分(=4/4拍子で2小節分)まではディスク・オーケストラが止まらず進みます。

## 4 演奏をスタートする

スタート/ストップ  
[▶/■ START/STOP]を押します。



## 5 ガイド・ランプに合わせて演奏する

ガイド・ランプのついた鍵盤を弾くと、曲が先へ進みます。  
選ばれている方法に応じて演奏が待ってくれます。

## 6 演奏をストップする

[▶/■ START/STOP]を押します。曲の最後までくると自動的にストップします。

# ■演奏中でも…

[GUIDE]を押せば、ガイド機能のON/OFFができます。

ガイド機能を解除するときは [GUIDE]を押してランプを消します。



## 4. フレーズを繰り返し演奏する (フレーズ・リピート機能)

「ディスク・オーケストラ・コレクション」の楽譜に書いてあるフレーズ・ナンバーを指定して、そのフレーズだけ繰り返して練習することができます。  
例えば、次の楽譜で **1** を選ぶと **1** の4小節だけが繰り返されます。

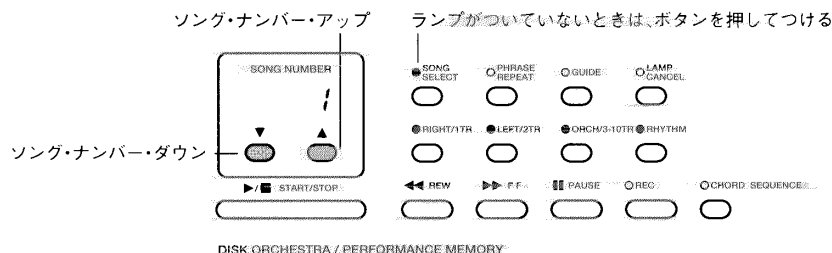


■「ディスク・オーケストラ・コレクション」でフレーズ・ナンバーがない曲では、フレーズ・リピートはできません。

### 1

#### ソング・ナンバーを選ぶ

ソング・セレクト  
[SONG SELECT]のランプがついていることを確認して、SONG  
ナンバー  
NUMBERの[▼][▲]で練習したい曲を選びます。

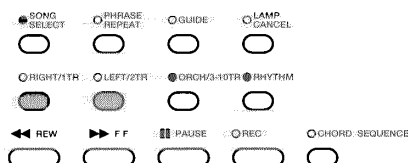


55

### 2

#### 練習するパートを選ぶ

練習するパート ([RIGHT/1TR][LEFT/2TR]のどちらか、または両方) のランプを消して、そのパートの再生をOFFにします。  
両手で練習するときは、両方のランプを消します。



#### ■演奏中でも…

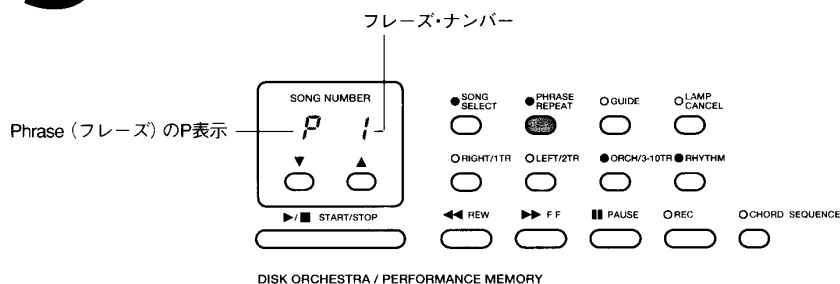
パートのON/OFFを切りかえることもできます。

■ガイド機能も同時に使えます。



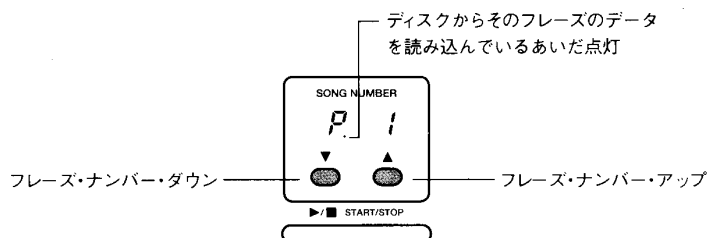
### 3 フレーズ・リピート機能を選ぶ

フレーズ・リピート  
[PHRASE REPEAT]を押してランプをつけます。



### 4 練習するフレーズを選ぶ

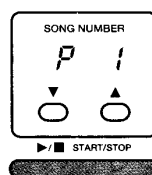
フレーズ・リピート機能がONのときは、ソング・ナンバー・ディスプレイがフレーズ・ナンバーの表示になりますので、SONG NUMBER[▼][▲]で練習したいフレーズ・ナンバーを選びます。



### 5 練習をスタートする

スタート/ストップ  
[▶/■ START/STOP]を押します。

1小節のカウント音に続いて、選んだフレーズが繰り返し再生されますので、それに合わせて練習してください。



### 6 練習をストップする

[▶/■ START/STOP]を押します。

フレーズ・リピート機能を解除するときは[PHRASE REPEAT]を押してランプを消します。

## 5. フレーズの範囲を指定して リピート練習する(A-Bリピート機能)

フレーズの範囲(A点とB点)を自由に指定して、繰り返し練習することができます。

例えば、次の楽譜のようにA点、B点を指定すると、その間だけが繰り返されます。

■パフォーマンス・メモリーで録音した曲やピアノプレーヤ・ソフトでも…

A-Bリピート機能を使うことができます。

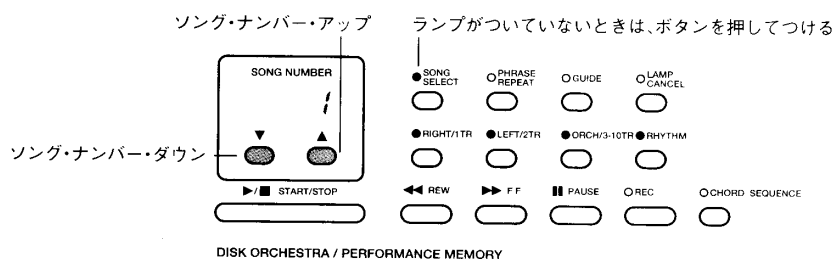


# 1

## 曲を選ぶ

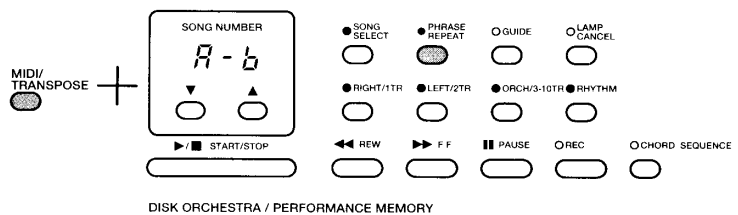
ソング・セレク  
[SONG S  
ナンバー  
NUMBER

[SONG SELECT]のランプがついていることを確認して、SONG NUMBER[▼][▲]で練習したい曲を選びます。



## 2 A点(フレーズのはじめ)B点(フレーズの終わり)を指定する

1. スタート/ストップ  
[▶/■ START/STOP]を押して曲を再生します。
2. ミディ・トランスポート  
[MIDI/TRANPOSE]を押しながら、A点にしたいところで  
フレーズ・リピート  
[PHRASE REPEAT]を押します。このとき[PHRASE REPEAT]のランプが点滅します。
3. B点にしたいところでもう一度[PHRASE REPEAT]を押します。  
このとき[PHRASE REPEAT]のランプが点滅から点灯に変わります。



## 3 繰り返し練習する

B点が設定されると自動的にA点に戻り、1小節のカウント音に続いてA-B間のフレーズが繰り返し再生されます。練習するパートの再生をOFFにして、練習してください。

## 4 演奏をストップする。

[▶/■ START/STOP]を押します。

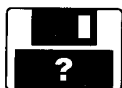
一度A点、B点を指定すると、ソング・ナンバーを変えるまで有効ですので、何度でもフレーズ・リピート機能の操作に従って、A-Bリピート練習をすることができます(A点、B点を指定しておくと、フレーズ・ナンバーを選ぶとき、「A-b」も表示されますのでフレーズ・ナンバーを選ぶ操作で「A-b」を選んでください)。

A-Bリピート機能を解除するときは[PHRASE REPEAT]を押してランプを消します。



## フロッピー・ディスクについて

「ディスク・オーケストラ・コレクション」のディスクや「ディスク・スタイル」には、すでにデータが書き込まれています。これから説明する「パフォーマンス・メモリー」では、なにもデータの入っていないディスク(新しいディスク)を使います(CVP-87/85/83には、新しいディスク(録音用ディスク)が1枚ついてきます)。ここでは、これらのフロッピー・ディスクを扱う上での注意と、新しいディスクや他の機器で使っていたディスクをCVP-87/85/83で初めて使うときに必要なフォーマット(初期化)の操作について説明します。



## フロッピー・ディスクの取り扱い

フロッピー・ディスクにはたくさんのデータが磁気によって記録されています。扱いかたを間違えると大切なデータを失いかねません。以下のことに注意して大切に扱いましょう。

### 取り扱い上の注意

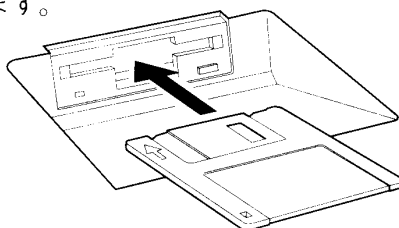
- テレビやスピーカーなど磁気の強いものに近づけないでください。
- 直射日光のあたる場所、温度が極端に高いまたは低い場所、湿気の多い場所、ほこりの多い場所などには置かないでください。
- シャッターを開けて内部のディスクに手などで触れないでください。
- クラブノーバ本体に入れたままにしないでください。必ず、電源を切る前に取り出して、ケースに入れて保管してください。
- ディスク挿入口にフロッピー・ディスク以外のものは入れないでください。

### フロッピー・ディスクの種類

CVP-87/85/83では「3.5インチ2DDマイクロ・フロッピー・ディスク」をご使用ください。市販のものには、「3.5inch MF2DD」と表示されています。

### フロッピー・ディスクの入れかた

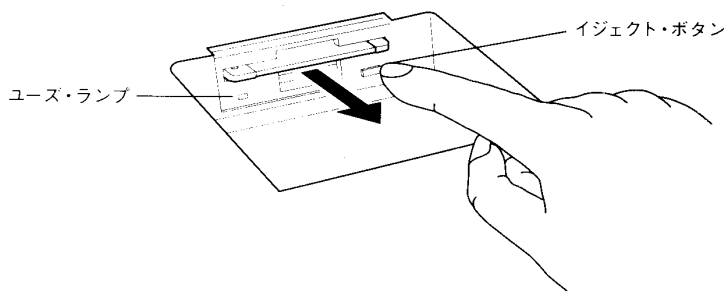
図のような正しい向きと方向でディスク挿入口に、カチッと音がするまでていねいに差し込みます。



### フロッピー・ディスクの取り出しかた

イジェクト・ボタンを押して取り出します。ユーズ・ランプがついているときはデータの読み込み（または書き込み）中なので、絶対に電源を切ったりイジェクト・ボタンを押さないでください。

途中でひっかかり取り出しにくい場合は、もう一度イジェクト・ボタンをしっかりと押すか、またはフロッピーディスクを再度入れてからイジェクト・ボタンを押し直します。



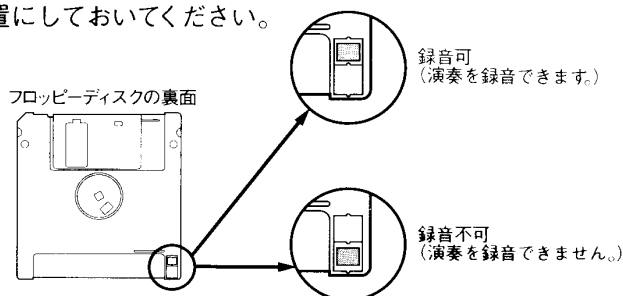
■イジェクト・ボタンを押してディスクが半分出た状態（ディスクを手で抜き取っていない状態）のままで、キー・カバーを開閉しないでください。キー・カバーとディスクが接触してディスクやディスク・ドライブ・ユニットが破損するおそれがあります。



## ライト・プロテクト・タブについて

フロッピー・ディスクには、誤ってデータを消してしまうことのないように「ライト・プロテクト・タブ」がついています。

書き換えたくないデータのはいつているディスクは「ライト・プロテクト・タブ」を記録不可の位置にしておいてください。



## データのバック・アップについて

録音したデータは、バック・アップのために別のディスクにコピーしておくことをおすすめします。なんらかのトラブルでデータを失ったときもバック・アップがあれば安心です。

コピーの方法は74ページを参照してください。

### ■ヘッドクリーニングについて

CVP-87/85/83の ディスクドライブユニットのヘッドは、使っていくうちに汚れがつき、データのエラーが起る場合があります。このような場合は、市販の3.5インチ用ヘッドクリーニングディスクで、ヘッドクリーニングをしてください。

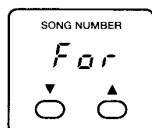
# フロッピー・ディスクのフォーマット(初期化)

新しいディスクや他の機器で使っていたディスクはそのままでは使うことができません。CVP-87/85/83で使えるように最初にフォーマット(初期化)しておく必要があります。

フォーマットを実行すると、それまでディスクに記録されていたデータは全部消えてしまいますのでご注意ください。

## 1 フロッピー・ディスクを入れる

フロッピー・ディスクを正しい向きと方向でディスク挿入口に差し込みます。フォーマットされていないディスクを入れた場合、SONG NUMBERディスプレイに「For」が表示されます。





### ■ちょっと覚えておこう…

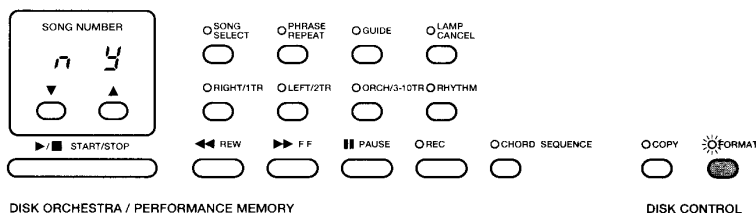
「Pro」と表示されたときは、ライト・プロテクト・タブが記録不可になっています。記録可の位置にしてからフォーマットを行ってください。

「ディスク・オーケストラ・コレクション」「ピアノプレーヤ・ソフト」のディスクは大切なデータを消してしまわないようにするため、フォーマットできないようになっています。

ピアノプレーヤでフォーマットされたディスクも、クラビノーバではフォーマットできません。

## 2 <sup>フォーマット</sup> [FORMAT]を押す

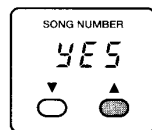
[FORMAT]を押すと、ランプが点滅しディスプレイに「nY」が表示されます。



## 3 YesかNoを選ぶ

フォーマットを実行したい場合、[▲] (Yes) を押すとディスプレイの表示が「Yes」に変わります。

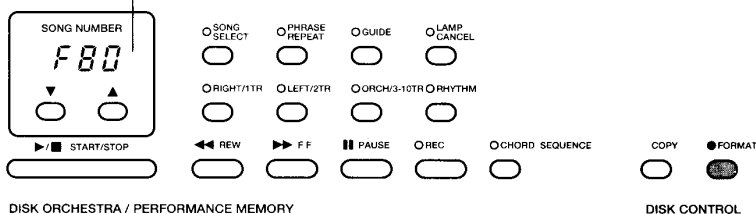
中止したい場合は、[▼] (No) を押します。



## 4 フォーマットを実行する

もう一度[FORMAT]を押すと、ランプがついて、フォーマットが始まります。

フォーマット実行中カウント・ダウン表示



フォーマットが終了すると[FORMAT]のランプが消えて、SONG NUMBERディスプレイに「1」が表示されます。